

# うない通信

国立大学法人 琉球大学 うない研究者支援センター ニュースレター Vol.4 2013年12月発行

## 夏休み学童保育2013を行いました。

平成25年8月5日(月)から9日(金)の5日間、教職員と学生の仕事(学業)と生活の両立支援の一環として、「科学とアートを体験しよう!」をテーマとした夏休み学童保育を実施しました。募集定員を上回る申し込みがあり、学内における子育て支援ニーズの高さをうかがうことができました。期間中、保育士を常時4名配置し、21名の児童(保護者16名)を受け入れました。体験プログラムでは、研究室協力による与那国馬の乗馬体験と動物観察「牧童になろう!」やDNA実験、ビオトープでの生き物観察、キッズ・イングリッシュなどを実施し、どのプログラムも子どもたちがいきいきと楽しんでいる様子を見ることができました。

短い期間ではありましたが、子どもたちは初めて会ったお友達や先生と仲良くなれることができ、コミュニケーション力をつける機会ともなったようです。また、一日の終わりにその日の体験教室で発見したことや不思議に思ったことを振り返り、「気づきのノート」に記述しました。このノートを元に、家庭でも一日の出来事を共有したり、不思議に思ったことは夏休みの自由研究のテーマとするなど、関心を広げることができたようです。

実施後の保護者アンケートでは、「学内で預けることができたので安心した」、「子どもたちが毎日の体験を楽しんでいた」、「今後もこのような学童保育があれば参加したい」という声がありました。しかし一方で、「開所期間や時間を長くしてほしい」、「長時間過ごす子どもたちがリラックスできる部屋を確保してほしい」、「夏季休暇中だけではなく、常時、教職員が子どもを預けられる環境を整備してほしい」などの意見がありました。今後も、このような子育て支援を大学全体の取組として広げていきたいと考えています。



与那国馬に乗ったよ!

今日のおやつは、パンケーキ。

琉球大学資料館「風樹館」にて写生

野菜からDNAをとりだしてみよう!

昆虫食にも挑戦!

## 相談・メンター制度

日常の研究生生活、進学・キャリア形成、出産・育児・介護等の「研究」と「家庭」との両立について、悩みをかかえていませんか。

うない研究者支援センターでは、女性研究者の仕事と生活の調和を応援するため、相談窓口を設置しています。

また、メンター制度として、自分自身も研究者として経験を積まれてきた本学の教員や退職された教員がメンター(相談役)となって、女性研究者や女子大学院学生の相談にのるサポートを行っています。

どうぞ、お気軽にうない研究者支援センターまでご相談ください。詳しくは、当センターのWebサイトをご覧ください。

※本制度は、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」の一環として実施しています。

## いいね!レポート 第1回

医学部 胸部心臓血管外科学講座 「女性用休憩室」

第1回は、胸部心臓血管外科学講座(対応診療科:第二外科)「女性用休憩室」をとりあげます。施設を利用されている新垣涼子医員と儀間佳乃さんにお話をうかがいました。訪問した「女性用休憩室」には、ロッカーやソファ、洗濯乾燥機、シャワールームが完備されていました。第二外科では、約2年前に、職員の要望やこれから女性医師が増加が見込まれるため、女性が働きやすい職場環境整備の取組として、使用されなくなった技官部屋を女性用休憩室へリニューアルし、併せて、男性用のシャワールームと休憩所を設置しました。お二人は、「設置される以前は、着替える場所もなくロッカーのかけなどで着替えたり、休憩は医局のソファを使用していたが気が休まらなかったり、男女別ではないため大変でした。今は、着替えや休憩だけでなく、実験終了後や当直、緊急で利用できるシャワーも設置されており、快適に過ごせる」、「男性の多い職場なので、気兼ねなく休める場所があるだけでも、気持ちが楽になった」とお話しされ、職場環境が改善されたと好評だとのことです。

このコーナーでは、うない研究者支援センタースタッフが、いいね!と思った働きやすい職場環境への取り組み等をレポートしていきます。次は、あなたの学部におじゃまします。



## BOOK うない文庫のお知らせ

附属図書館2階情報ラウンジにて「生き方の多様性を応援するうない文庫」を常設しております。200冊の図書資料は、(独)国立女性教育会館より図書パッケージ貸出サービスでお借りした本で、3か月ごとに入れ替わります。貸し出しも行っていますので、お気軽にご利用下さい。



本の入れ替え作業中です。

## 編集後記

この11月でうない研究者支援センターも一周年をむかえました。今後とも女性研究者支援事業が大学全体の取組として定着できるよう、スタッフ一同精進いたします。



## 国立大学法人 琉球大学 うない研究者支援センター

University of the Ryukyus  
Unai Center for Researcher Support and Development

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 大学本部1階  
TEL:098-895-8675 FAX:098-895-8732  
E-mail:gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp  
URL:http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/unai/



# 2013年 7月 11月の主な活動報告

## 女性研究者による附属中学校での特別授業 7月3日(水)

### 「第4回 体験! 琉球大学」附属中学校 ～一緒に科学の不思議をのぞいてみよう!～

教育学部が主催する「第4回 体験! 琉球大学」に、うない研究者支援センターも初めて参加し、自然科学系分野から3名の女性研究者が中学3年生を対象に授業を行いました。本企画は、中学生に自然科学系分野の魅力を伝えることによって、「研究者」という仕事が、将来職業を選択する上での、選択肢の一つになることを願って実施しました。



医学部 名嘉地めぐみ特命助教  
「医師ってどんな職業?」



工学部 小野尋子准教授  
「都市計画、居住地計画分野」



理学部 漢那洋子准教授  
「光と色と化学変化」

## オープンキャンパス企画 7月20日(土)

男女共同参画室と共催で、オープンキャンパス企画「輝け理系女子! 琉大☆女性研究者支援事業紹介パネル展示」と「女性研究者による“理系女子のための自然科学系分野紹介”」を開催しました。

パネル展示では、男女共同参画の現状や琉球大学における女性研究者支援事業の取組、夢に向かって走り続ける先輩理系女子(大学院学生)からのメッセージについて紹介しました。

また、約40名の女子高校生らが参加した、自然科学系分野紹介では、漢那洋子准教授(理学部)が、実例をみせながら「光化学」の研究紹介をし、学生時代の経験を織り交ぜながら「自然科学分野・科学技術分野における男女共同参画」についてお話されました。参加者からは、「研究者は男性のイメージが大きかったが、女性も沢山いることを知って進路に考えることが出来た」などの感想がありました。



## 第3回 ゆいカフェ報告 9月30日(月)

大学本部の第2会議室にて、女性研究者間の情報交換や交流を目的に「第3回 ゆいカフェ」を開催しました。今回は、10名が参加し、11月の「学長と女性研究者との懇談会」に向けた意見交換を行いました。特に、当センターが実施している研究補助員配置制度を文部科学省科学技術人材育成費補助事業終了後も本学の取組として継続して欲しいという要望があり、そのための方策について討議されました。また、各部署における男女共同参画推進の意識向上、セキュリティーや外灯など学内でいつでも安心して研究活動ができるための環境整備等について様々な意見があがりました。



## 平成25年度第二期研究補助員配置制度を開始しました! 10月1日(火)

平成25年度第二期研究補助員配置制度では、28名(男性5名、女性23名)の教員が本制度を利用することとなりました。本制度利用の理由としては、育児が18名と最も多く、続いて、介護・看護8名、妊娠2名でした。

また、今期は、研究補助員として43名が配置されました。

## 男女共同参画推進ヒアリングを実施しました! 10月1日(火)

外間登美子理事(地域国際連携・男女共同参画担当)、花城梨枝子男女共同参画室長、喜納育江うない研究者支援センター長、小西照子うない研究者支援センター副センター長、上原比呂美人事課課長代理が、松下正之医学部長を訪問し、女性研究者支援事業や女性医師の復職支援、男女共同参画推進の取組等について意見交換をおこないました。また、同日の午後には、山里眞理学部長と山崎秀雄副学部長、稲岡毅副学部長を訪問し、平成26年度末までに女性研究者の在職比率を16%以上とする目標値達成のための理学部における取組や課題について意見交換を行いました。



医学部長室でのヒアリング



理学部長室でのヒアリング

## 第4回 スキルアップセミナー「学会ポスターの作り方」

(共催:機器分析支援センター) 10月30日(水)

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」におけるスキルアップ支援の一環として、本学の機器分析支援センターと共催で、第4回スキルアップセミナー「～研究内容をより効果的に伝える～ 学会ポスターの作りかた」を開催しました。

本セミナーは、学会発表ポスター作成の基礎やコツを習得することで、研究内容をより効果的に伝えるポスターの作成スキルの向上を目的に、教職員や大学院学生42名が参加しました。講師の池原清子氏(機器分析支援センター技術専門職員)が、より効果的に研究内容を伝えるためのテクニックを、具体例を示しながら講義をおこないました。また、受講生は持参したデータや学会発表用ポスターを用いて、機器分析支援センタースタッフの個別対応のもと実践練習をおこないました。



## 「学長と女性研究者との懇談会」を開催しました! 11月21日(木)

男女共同参画室及びうない研究者支援センターは、「学長と女性研究者との懇談会」を開催しました。大学側からは、大城肇学長と外間登美子理事(地域国際連携・男女共同参画担当)が出席し、13名の女性研究者が参加しました。本懇談会では、女性研究者のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、女性研究者が職業生活と家庭生活を両立する上で抱える諸課題や大学に期待する支援・要望等について、活発な意見交換を行うことができました。



懇談会の様子

## 新聞に取り上げられました!

沖縄県主催の男女共同参画シンポジウム「女性力で社会の活性化を～男女が生き生きと暮らせる社会をめざして」(主催:沖縄県男女共同参画センター管理運営団体)における喜納センター長の基調講演がとりあげられました。(沖縄タイムス8月14日掲載)

また、本学における「研究補助員配置制度」について、本制度を利用されている研究者と研究補助員ならびに当センターのコーディネーターの高橋が琉球新報の取材を受け、新聞に掲載されました。(琉球新報9月5日掲載)

掲載された記事は、当センターのWebサイトよりご覧いただけます。



▲沖縄タイムス社  
2013年8月14日掲載

▲琉球新報社  
2013年9月5日掲載